

物語文④ 場面のうつりかわり

名前：

点数： / 6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール 場面が変わる目印は「時・場所・人物」の変化。「次の日」「学校から帰ると」「三年後」などの言葉に印をつける。場面が変わると、登場人物の気持ちも動きやすい。

- ① その夜、ぼくはなかなかねむれなかった。次の朝、ぼくは決心して家を出た。

場面が変わる目印の言葉をぬき出しましょう。

- ② 教室では、みんなが笑っていた。学校から帰ると、家の中は静まり返っていた。

場面は何が変わりましたか。

- ③ 公園でひとり、ブランコをこいでいた。そこへ、転校生の田中さんがやって来た。

場面は何が変わりましたか。

- ④ ふと、去年の運動会の朝のことを思い出した。あの日も、こんな青い空だった。

ここから始まるのは、どんな場面ですか。

- ⑤ 場面が変わったとき、あわせて注意して読むとよいものはどれですか。

選びましょう。 ア 登場人物の気持ちの変化 イ 漢字の画数

- ⑥ ①朝、妹はふきげんだった。②夕方、妹は歌いながら帰ってきた。③母が「何かいいことがあったのね」と笑った。

場面の変わり目は①と②の間です。目印になっている言葉と、変わったものを答えましょう。

① 次の朝

ポイント 「時」の変化。

② 場所（教室→家）

ポイント 場所の変化は、ふんいきの変化とセットのことが多い。

③ 人物（田中さんが加わった）

④ 回想（過去を思い出す場面）

ポイント 「思い出した」「あの日」は回想の合図。

⑤ ア

⑥ 目印：夕方（時の変化） 変わったもの：妹の様子（気持ち）

おうちの方・先生へ（丸つけの窓）

6番の場面分けが仕上げです。どの言葉を目印に切ったかを言わせてください。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。（無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定）